

平成29年度

第1回 第一中学校・第二中学校

統合検討委員会

平成29年6月30日（金）

18:30～20:00

津久見市教育委員会2F会議室

○委員委嘱

1 開会のことば（中野学校教育課長）

進行： 岩尾（指導主事）

2 教育長あいさつ

○あいさつ

○設置要綱

3 役員選出

○ 委員長1名 副委員長1名

4 委員長あいさつ

5 委員の自己紹介

6 検討委員会への依頼（教育長）

7 協議

（1）これまでの経緯と現状について（説明）

（2）協議

（3）その他

7 次回の会議の予定

8月 8日（火）18:30～20:00

8 閉会のことば（中野学校教育課長）

第一中学校・第二中学校統合検討委員会設置要綱

(平成 29 年 6 月 27 日教育委員会告示乙第 1 号)

(目的及び設置)

第 1 条 生徒数が減少する中、教育的な視点から活力ある学校づくりの方策として第一中学校と第二中学校の発展的統合について検討するため、第一中学校・第二中学校統合検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(職務)

第 2 条 委員会は、津久見市教育委員会教育長（以下「教育長」という。）の依頼に応じ、次の各号に掲げる事項について検討し、その結果を報告書にまとめて教育長に提出する。

- (1) 第一中学校と第二中学校の統合に関する事項
- (2) その他、上記に関連する事項

(組織)

第 3 条 委員会は、教育長が委嘱する委員をもって構成する。

2 委員会には、委員の互選により委員長 1 人、副委員長 1 人を置く。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたときは、その職務を代行する。

(会議)

第 4 条 委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

4 委員長が必要と認めたときは、関係者に出席を求めて意見を聴くことができる。

5 会議は、原則公開とする。

(庶務)

第 5 条 委員会の庶務は、津久見市教育委員会事務局において処理する。

(補則)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この告示は、平成 29 年 6 月 27 日から施行する。

第一中学校・第二中学校統合検討委員会委員

平成29年6月30日

委員長：川野修平

副委員長：鳥越和久

番号	氏名	役職名
1	川野修平	津久見市連合PTA顧問
2	鳥越和久	津久見市連合PTA会長
3	中津留崇雄	堅徳小学校PTA会長
4	中岡朋士	青江小学校PTA会長
5	上場敬太	津久見小学校PTA会長
6	松下貴宏	千怒小学校PTA会長
7	幸泰史	第一中学校PTA会長
8	高山真	第二中学校PTA会長
9	東千鶴	津久見市連合PTA母親代表
10	上杉敬三	元県立学校長
11	鳥越繁一	元津久見市教育委員長
12	原尻育史郎	津久見商工会議所専務理事
13	新納義光	津久見市区長会 副会長
14	伊井操	津久見市区長会 副会長
15	宇都宮崇	津久見市共同調理場長
16	平川英治	津久見市校長会長
17	樋口千恵美	津久見市校長会副会長
18	狩生浩司	関係校校長

第一中学校・第二中学校
統合検討委員会
委員長 殿

平成 29 年 6 月 3 0 日
津久見市教育委員会
教育長 平山 正雄

津久見市立第一中学校と津久見市立第二中学校との統合について（依頼）

標記のことについて、下記理由により検討をお願いします。

（理由）

津久見市における中学校入学生徒数は、昭和 37 年の 1, 153 人（合計 3, 349 人）をピークとして減少を続け、平成 29 年 4 月現在 102 人（中学生合計 395 人）となっています。

その結果、昭和 26 年の市制施行時に 7 校あった中学校は休校・廃校を余儀なくされ、現在は、第一中学校と第二中学校と保戸島中学校の 3 校となっています。

第一中学校入学生徒数は最大 359 人（中学生合計 1, 054 人）から、現在は 71 人（中学生合計 265 人）、第二中学校は最大 481 人（中学生合計 1, 316 人）から、現在は 30 人（中学生合計 126 人）と急激かつ大幅に減少しています。

このような中、津久見市教育委員会では、平成 17 年 3 月 30 日「津久見市立小中学校適正規模、適正配置についての基本方針」を決定し、日代中学校を第一中学校に統合、四浦東中学校の久保泊小学校区の中学生については第一中学校に統合することなどにより、子どもたちの教育環境を整備してきました。

県内や全国の市町村においても小中学校の統廃合が進む中、文部科学省から平成 27 年 1 月 27 日付けで、「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が示され、「地域の実情に応じて各市町村において教育的な視点から少子化に対応した活力ある学校づくりの方策を検討・実施すること」が求められています。

このような状況に鑑み、「第一中学校と第二中学校の統合」について検討をお願いします。なお、検討に当たっては、あくまでも「子どものための学校づくりはいかにあるべきか」を中心に据えた協議をお願いします。

区分	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
中学校入学者数	525	566	479	411	501	478	489	491	478	485	479	495	435	377	406	387	356	361	330	314	338	310	255	270	248	217	206	203	192	186	164	193	170	186	151	175	155	125	116	151	142	102	147	123	122	109	97	126	128	97	105	89	91
第一中学校																										113	128	114	115	100	106	129	98	112	97	112	87	78	72	102	91	71	96	81	71	68	63	80	87	63	69	57	57
第二中学校																										75	60	64	69	70	49	60	62	67	47	62	61	46	40	47	50	30	51	42	50	40	34	46	41	34	36	32	34
保戸島中学校																										12	3	11	2	2	7	0	7	4	4	0	6	1	4	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
四浦東中学校																										4	4	3	2	5	1	3	2	1	3	1	0	0															
無垢島中学校																										0	0	0	0	1	1	1	1	2	0	0	1																
日代中学校																										13	11	11	4	8	0	0																					



566名

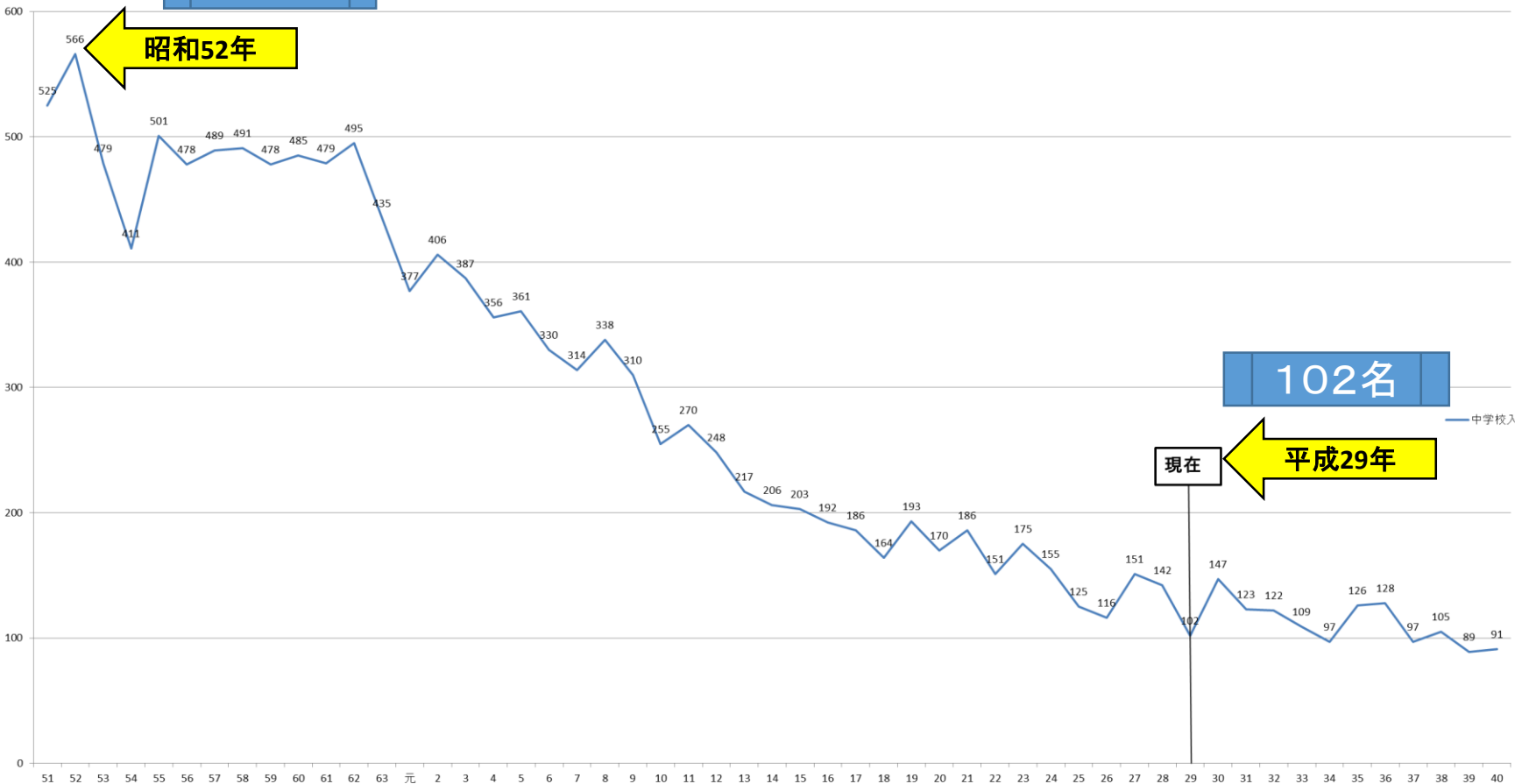
入学者数の推移

昭和52年

102名

現在

平成29年



津久見市立小中学校位置図

小学校	5校	児童数	教職員数	63名（県費事務員含む）
中学校	3校	生徒数	395名	教職員数51名（県費事務員含む）
合計	8校	1107名	119名	

（平成29年5月1日現在）

無垢島
小・中

長目小

堅徳小学校

児童数 83名
教職員数 11名

青江小学校

児童数 169名
教職員数 17名

第二中学校

生徒数 126名
教職員数 19名

津久見小学校

児童数 286名
教職員数 26名

第一中学校

生徒数 265名
教職員数 23名

千怒小学校

児童数 173名
教職員数 13名

日代
小・中

赤崎小

仙水小

四浦西中

保戸島小中学校

児童数 1名
生徒数 4名
教職員数 10名

越智小

久保泊小

四浦東中



平成27年 1月27日

公立小学校・中学校の適正規模 適正配置等に関する手引き

文部科学省

地域の実情に応じて各市町村において
教育的な視点から少子化に対応した

活力ある学校づくりの方策を 検討・実施

学校規模の適正化が課題となる背景



児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくという学校の特質を踏まえ、小・中学校では、一定の集団規模が確保されることが望ましいと考えられる。



法令上、学校規模の標準は、学級数により設定されており



小学校・中学校ともに 12学級以上 18学級以下
が標準とされる

小学校



各学年2学級～3学級

中学校



各学年4学級～6学級

平成29年 6月30日

子どものためのよりよい 学校づくり



「第一中学校と第二中学校の統合」について
検 討



検討委員会の立ち上げ